

10月1日は「浄化槽の日」

「浄化槽の日」は、浄化槽に関する法律の「浄化槽法」が、昭和60年10月1日に施行されたことを記念して、昭和62年に定められました。

浄化槽は、微生物の働きを利用して汚水を処理する施設なので、微生物が活発に活動できるような環境を保つ必要があります。そのため、浄化槽法により次のことが義務付けられています。

- ◆保守点検
機器類の点検・調整や消毒剤の補給等を行い、異常や故障などを早期に発見し、予防的な措置を講じること。

◆清掃
浄化槽内にたまった汚泥などを抜き取り、付属装置や機器類の洗浄や清掃を行うこと。

◆法定検査
公共用水域の汚染等を引き起こさないよう、浄化機能が十分に発揮されているかどうか確認するためのもので、毎年一回水質に関する検査を受けなければなりません。

これらの保守点検・清掃・法定検査は浄化槽管理者(浄化槽を設置し、使用いただいている方)が費用を負担します。なお、下水道への接続等で浄化槽を廃止したときは、30日以内に届出が必要です。届出は下水道課にお願いします。

問い合わせ先
下水道課 計画普及係
☎86・8012 ☎86・8390

「赤ちゃんがきた!」参加者募集

「赤ちゃんがきた!」は、初めての赤ちゃんを出産されたお母さんを対象に、少人数のグループで子育てについての基本的な知識を学びあったり、赤ちゃんとの絆を深めたり、子育て仲間がつながれるような内容です。参加を希望される方は、各子育て支援センターまで電話か直接ご来所ください。

- 日時/11月1日(木)、8日(木)、15日(木)、22日(木)
13時30分~15時30分まで(全4回)
- 場所/甲南青少年研修センター
(甲南子育て支援センター隣)
- 対象/市内在住で、平成24年4月~平成24年8月生まれの乳児とお母さん(第1子に限る)

- 定員/10組
 - 参加費/840円(テキスト代)
 - 持ち物/赤ちゃんのオムツ・タオル・ミルク(必要な方など)
 - その他/託児はありません。赤ちゃんと一緒に参加していただけます。
- ※申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 締切/10月17日(水)

問い合わせ・申し込み
各子育て支援センター
水口 ☎65・5511 甲南 ☎86・0949
土山 ☎66・0375 信楽 ☎82・2799
甲賀 ☎88・8115

市史の小徑

「甲賀五十三家」は 実在したか?

甲賀の歴史、特にその中世について考えるとき、「甲賀五十三家」や「二十一一家」ということが常に語られてきました。五十三家とは旧甲賀郡域の各地に成長した土豪で、室町時代の長享元(二四八七)年に起こった將軍足利義尚による六角征伐において、六角方として鉤の陣に夜襲をかけた家々として、このうち特に大きな戦功をあげた家を二十一一家といい、これらの諸家の存在を前提に地域史を考えると、このころが、江戸時代以来とくに「甲賀武士」の顕彰に努めた大正十五年刊行の『甲賀郡志』以降、郷土研究の定石となってきました。

今回の市史中世編では、これまでの定石にとらわれず、まずは同時代の史料から甲賀の武士の動向を見ることができました。すると、たしかに二十一一家に該当する諸家はその動きや子孫の系譜などが追えるのに対して、これを除く家々については、史料の不足もあって具体的な動向がほとんどわかりませんでした。そもそも五十三家や二十一一家という

考え方は、江戸時代にその末裔(甲賀古士)たちが書き記した由緒書に現れるもので、その全てを史実としてよいかどうかは検討が必要とされます。果たして彼らは「実在」したのでしょうか。

歴史作家の司馬遼太郎さんは早くから彼ら土豪・地侍があるいはその末裔たちが地域の歴史さらには日本の歴史に果たした役割を高く評価されていますが、甲賀ではそれが五十三家や二十一一家となり、その活躍を通して歴史を描いてきました。甲賀を象徴する土豪たちについて、次回も考えてみたいと思います。

- 【市史販売場所】
- 〈水口町〉ブックショップヤマカワ・山田書店・TSUTAYAさんぽうご・水口歴史民俗資料館
 - 〈土山町〉ウエノ・道の駅あいの土山・新名神土山サービスエリア案内所・土山歴史民俗資料館
 - 〈甲賀町〉かふか生涯学習館
 - 〈甲南町〉ウイング甲南店・市史編さん室
 - 〈信楽町〉大宝堂谷川書店・信楽伝統産業会館・信楽中央公民館
- ※予約申込の方は指定の施設でお引き換えください。

問い合わせ
歴史文化財課 市史編さん室
☎86・8075 ☎86・8216

*詳しくは「甲賀市ホームページ」→トップの「甲賀市史」のバナーからもご覧いただけます

RED LIST [第7回]

レッドデータブックに掲載される絶滅のおそれがある野生生物の一覧をレッドリストと言います。私たちの身近な環境と甲賀市のレッドリストに載る生き物の関係について紹介します。

田んぼの赤とんぼ

稲刈り後の田んぼに、たくさんの赤とんぼ(アキアカネやナツアカネといったアカネ属のトンボ)が飛び風景は、水田の多い日本では、日常のように思われます。

しかし、「水田に立てば、周囲に数千~数万の赤とんぼが目撃できた」という約50年前の北陸の穀倉地帯の記録や、近年の全国の調査結果からは、田んぼの赤とんぼが減ったという報告が相次ぎます。

滋賀県内や甲賀市でも、赤とんぼが秋の田んぼに群れる風景は限られる傾向です。例えば、マイコアカネという赤とんぼは、約5年前から激減し、レッドリストに掲載される可能性があります。

赤とんぼ減少の理由は、農業説、圃場整備説などありますが、明らかではなく、大学や国、各自治体の研究機関が調査中です。

ただ、市内の一部地域では、現在も驚くほどの

赤とんぼが羽化する田んぼがいくつか確認できます。おそらく、現在の一般的な田んぼの環境が、赤とんぼが住み難い環境になったのでしょう。

さて、夏休み頃に、田んぼの上に群れるオレンジ色のトンボがいますが、これはウスバキトンボです。毎春、東南アジアから渡ってきて、夏の田んぼで生活し、晩秋には死に絶える熱帯のトンボです。

自然館では、この秋、市内の赤とんぼを調査中です。関心のある方はご連絡ください。



▲アキアカネ



▲ナツアカネ

問い合わせ みなくち子どもの森自然館 ☎63-6712 ☎63-0466

5名がねんりんピックへ

(第25回全国健康福祉祭宮城・仙台大会)

第25回「全国健康福祉祭」(愛称:ねんりんピック)が宮城県内の13市町を会場に10月13日から16日の4日間開催されます。60歳以上の方々を中心に、卓球、囲碁、俳句などの交流大会や、美術展、音楽文化祭が行われ、地域や世代を超えて参加者の交流の輪を広げていきます。

この大会に甲賀市から5名が参加されます。参加される方々のご活躍を期待しています。

- 参加者
- スポーツ部門
 - 《ダンススポーツ》
加来 保さん(甲南町)
加来 和子さん(甲南町)
 - 《サッカー》
井用 敏昭さん(甲賀町)
 - 《グラウンド・ゴルフ》
平岡 正巳さん(土山町)
 - 美術部門
 - 《日本画・水墨画》
森田 多み子さん(甲南町)